

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 23 日 (2005.6.23)

【公表番号】特表 2005-504635 (P2005-504635A)
 【公表日】平成 17 年 2 月 17 日 (2005.2.17)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-007
 【出願番号】特願 2002-565730 (P2002-565730)
 【国際特許分類第 7 版】

B 2 2 D 11/06

B 2 2 D 11/00

【F I】

B 2 2 D 11/06 3 3 0 B

B 2 2 D 11/06 3 7 0 B

B 2 2 D 11/00 E

【手続補正書】
 【提出日】平成 15 年 9 月 5 日 (2003.9.5)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

アルミニウム合金の一組みの外側の層、及び
 前記外側の層の間に位置決めされる前記アルミニウム合金の中央の層を含み、
 前記外側の層及び前記中央の層は、一組みのロールの間における溶融したアルミニウム合金の組成物の連続鑄造によってストリップに生産されており、
 前記溶融したアルミニウム合金は、初期濃度で共晶を形成する合金をつくる元素を含み、
 前記中央の層における前記共晶を形成する合金をつくる元素の濃度は、各々の前記外側の層における前記共晶を形成する合金をつくる元素の濃度よりも少ない、アルミニウム合金のストリップ。

【請求項 2】

前記中央の層における前記共晶を形成する合金をつくる元素の濃度は、各々の前記外側の層における前記共晶を形成する合金をつくる元素の濃度よりも約 5 乃至約 20 % 少なく、
 前記共晶を形成する合金をつくる元素は、S i、F e、N i、Z n、M g、C u、及び M n からなる群より選択される請求項 1 記載のストリップ。

【請求項 3】

アルミニウム合金の一組みの外側の層、及び
 前記外側の層の間に位置決めされると共に球形の樹枝状結晶を含む約 20 % 乃至約 30 % の厚さのストリップを含む前記アルミニウム合金の中央の層を含み、
 前記外側の層及び前記中央の層は、一組みの回転するロールへ送り出される前記アルミニウム合金の組成物の溶融物の連続鑄造によって、ストリップに生産されてある、アルミニウム合金のストリップ。